



# YAHAGI Report

## 第85期 中間株主通信

2025年4月1日～2025年9月30日



大府東海開発プロジェクト（愛知県 大府市・東海市）

矢作建設工業株式会社

証券コード：1870

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第85期中間期(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の業績や当社の取り組みをご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 高柳 充広

## 中間業績ハイライト

売上高は中間期として3期連続で過去最高を更新

利益面においても、各利益段階において過去最高を更新

当中間期の売上高は、建設事業において大型物流施設工事の施工が最盛期を迎えた大幅な増収となったことや、不動産事業における自社開発産業用地の売却などにより、前年同期に引き続き、過去最高を更新しました。

利益面においても、建設事業では増収効果や利益率の改善、不動産事業においては利益率の高い自社開発産業用地の売却が寄与したことにより、営業利益以下の各利益段階で前年同期を上回り、過去最高を更新しました。

なお、期初予想に対しても、売上高及び各利益段階ともにこれを上回る結果となりました。

売上高	896億円	前年同期比 +52.6%
営業利益	79億円	前年同期比 +520.9%
経常利益	79億円	前年同期比 +502.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	57億円	前年同期比 +492.9%

## 通期業績見通し

売上高は1,680億円と4期連続で過去最高を更新する見込み

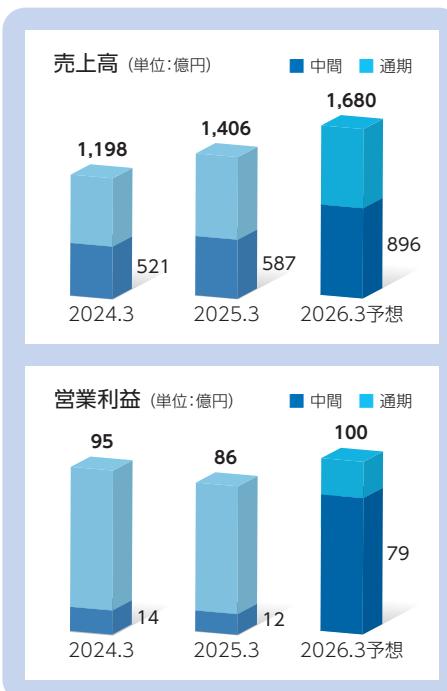
利益面においても、各利益段階で過去最高を更新するとともに、中期経営計画の数値目標「営業利益100億円」の達成を見込む

2026年3月期通期の売上高は、不動産事業においては若干の減収が見込まれるもの、建設事業において複数の大型建築工事の施工が進捗し増収となることで、前期実績を大きく上回り、4期連続で過去最高を更新する見通しです。

利益面においては、不動産事業における減収の影響や、成長投資等に伴う販売費及び一般管理費の増加があるものの、建設事業における増収効果による大幅な増益により、前期実績を大きく上回り、過去最高を更新する見通しです。

※中間期実績は業績予想を上回る結果となりましたが、通期業績予想は2025年5月7日の公表数値を据え置いております。これは、第3四半期以降においても建設事業・不動産事業ともに引き続き順調に進捗することが見込まれていますが、一方で当社の今後の持続的成長を実現するために積極的な投資を行うことで、当初予想よりも発生見込費用が増加する可能性があることなどを踏まえたためです。

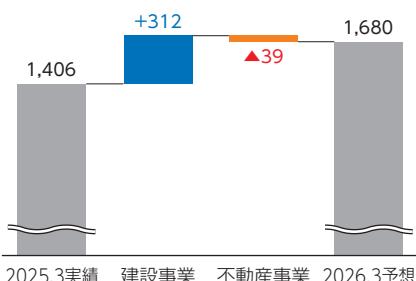
なお、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。



[ 2026年3月期連結予想売上高・営業利益の増減要因 ] (対2025年3月期)

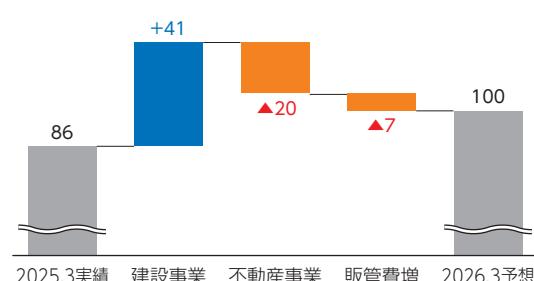
売上高 (単位:億円)

対前期273億円増



営業利益 (単位:億円)

対前期13億円増



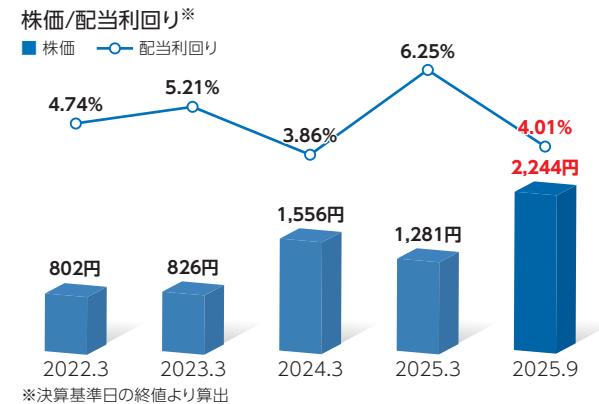
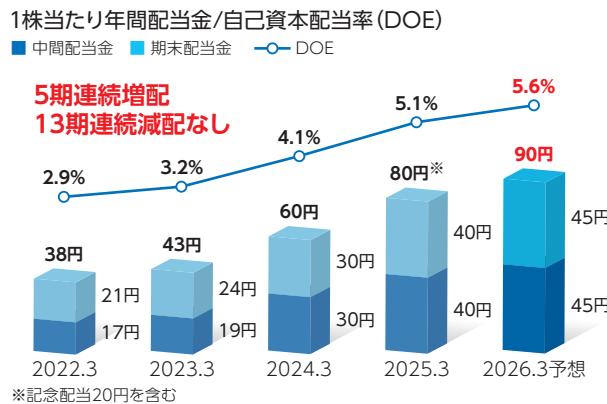
決算の詳細は  
こちらを  
ご覧ください



## ■ 株主還元

当社は、企業価値の向上とともに、株主の皆様への適切な利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けており、今年度より、**自己資本配当率(DOE)**を新たな配当基準(目標値5%以上)とし、加えて毎年配当を引き上げる、もしくは維持する**累進配当**を基本とする方針に改めております。

この方針に基づき、当期の年間配当金は、前期より10円増配の**90円**を予定しており、中間配当金については45円とさせていただきました。



## ■ TOPICS 事業主として当社が手掛ける過去最大規模の不動産開発プロジェクト

### 大府東海開発プロジェクト

表紙に写真を掲載している本プロジェクトは、愛知県名古屋市に隣接する大府市、東海市の2つの自治体にまたがる複数の高速道路や幹線道路の結節点となる利便性の高いエリアにおいて、土地の取得から、行政との協議、造成工事、企業誘致、設計、建築工事までを当社が一気通貫で手掛ける開発面積約7万坪の当社最大規模の不動産開発です。

開発地は1号宅地と2号宅地に分かれており、1号宅地は、2023年11月より用地販売先の野村不動産株式会社の大型物流倉庫の建築工事に着手し、2025年10月に竣工・引渡しが完了しました。また、2号宅地も一部を除いた用地の販売を完了し、現在は販売先である野村不動産株式会社の大型物流倉庫の建築工事を進めています。

本プロジェクトの収益は、不動産販売と物流倉庫の建設により、2024年3月期から4期間にわたって合わせて1,000億円程度の売上を見込んでおります。

当社は、東海圏を中心に同様の産業用地開発プロジェクトを複数件進行させております。今後も地域社会の発展に寄与する不動産開発に積極的に取り組んでまいります。



プロジェクト着手前(2021年7月)



造成工事完了(2023年9月)

最新の写真は表紙をご覧ください

### [ プロジェクトスケジュール ]

2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2027.3
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------



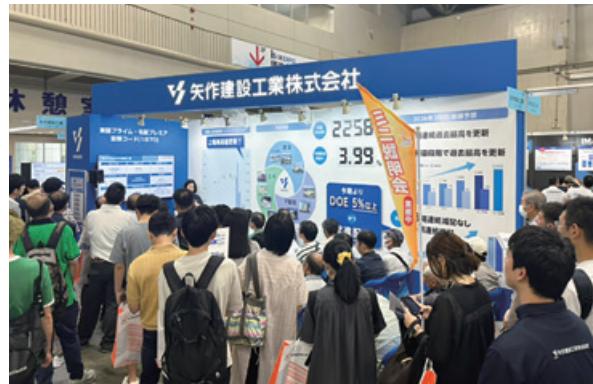
## TOPICS 投資家とのエンゲージメント強化

### 各種説明会・IRイベントへの出展

当社は、株主・投資家の皆様との積極的な対話の促進に取り組んでおります。

本年9月には名証IRキスボ2025、日経・東証IRフェア2025へ出展し、多数の投資家の方にご来場いただきました。また、機関投資家向け決算説明会や、東京、名古屋での個人投資家向け会社説明会を定期的に開催しております。

引き続き、当社グループの持続的成長と企業価値向上のため、株主や投資家の皆様との対話に取り組んでまいります。



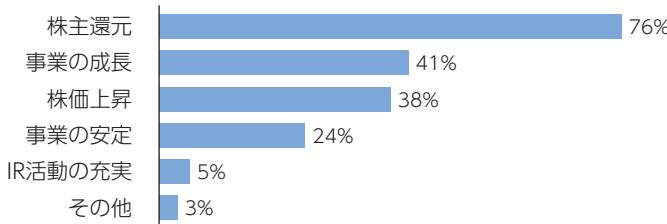
▲名証IRキスボ

## アンケート結果のご報告

第84期株主通信記載「コエキク」アンケート(2025年6月～2025年8月実施)を通じて株主の皆様よりさまざまなお声を頂戴しました。ご回答いただきました株主の皆様におかれましては、お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。今後とも皆様の期待に応えられるよう努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

### ● アンケート集計結果

当社に期待すること(複数選択)



### ● その他の意見

- ・配当方針を継続してほしい。
- ・知名度向上に努めてほしい。
- ・株主還元の更なる充実に期待している。

### ● アンケート回答はこちらから

株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

[https://koekiuk.jp アクセスキー 1870Gcwm](https://koekiuk.jp)

スマートフォンから  
カメラ機能で  
QRコードを読み取り

QRコードを読み取った際のスマートフォンの画面

## 株主メモ

○事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

○定期株主総会 每年6月開催

○基準日

定期株主総会:毎年3月31日

期末配当金:毎年3月31日 中間配当金:毎年9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

○株主名簿管理人及び特別口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

○同事務取扱場所

愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

[郵送物送付先]

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

[電話照会先] ☎ 0120-782-031

○上場金融商品取引所

東京証券取引所 名古屋証券取引所

○公告方法

当社のホームページに掲載します。

[https://www.yahagi.co.jp/ir/stock\\_situation/public\\_notice/](https://www.yahagi.co.jp/ir/stock_situation/public_notice/)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告  
をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

## 会社概要(2025.9.30現在)

商 号 矢作建設工業株式会社  
設 立 1949年5月14日  
資 本 金 68億8百万円

本社 愛知県名古屋市東区葵三丁目19番7号  
エンジニアリングセンター(愛知県長久手市)  
鉄道技術研修センター(愛知県名古屋市)  
東京支店(東京都中央区)  
東北支店(宮城県仙台市)  
大阪支店(大阪府大阪市)  
広島支店(広島県広島市)  
九州支店(福岡県福岡市)

<https://www.yahagi.co.jp/>

矢作建設

